

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	キャリアデザイン I (GB)		(TGB101)
講義名（コード）	TGB_キャリアデザイン I		(TGB101)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	伊藤 玲、米村 真識	時間数	30
成績評価教員	伊藤 玲	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	自己のライフキャリアを再確認し、職業体験を通じたキャリア形成の基礎を養うこと。自らの言葉で発言し（スピーチ力強化）、周囲のフィードバックを適切に受け止めることができること。
全体の内容と概要	専門学校へ進学した意味や目的を再確認し、必要なキャリア形成の知識・スキルを自ら調べてアウトプットできるようにする。参加者からの質問を促し「質問力」「スピーチ力」「コミュニケーション力」を養う機会を設ける。
授業時間外の学修	授業時間中にわからないことは進路手帳や補助プリントを活用し自分で調べる。授業時間内でのインプット（講義）は最低限とする。不明な点は授業時間外に学習者が調べ授業時間内に質問することとする。
履修上の注意事項等	授業カリキュラムの原則として1コマで講義時間は30分～40分程度とする。残り時間は学習者が自ら調べ、自分の意見をアウトプット（口頭、文章化等）させて参加者のフィードバックを積極的に受けるスタイルとする。教員は学習者の発言を促し、授業全体をファシリテートすること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	授業時に提示した教材プリントに、ワークの成果を記述して授業終了時（あるいは次回授業時）に提出することを義務付ける。この提出の内容が成績評価の核となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	【講義】授業の進め方/キャリアとは何か/キャリアデザインの目標 【演習】参加者の自己紹介（1分スピーチ）
2	他者理解①	多様性を知る。（2人ペアとなり相手の国籍や特徴をヒアリングして、全体に紹介）
3	他者理解②	多様性を知る。（2人ペアとなり相手の国籍や特徴をヒアリングして、全体に紹介）
4	求められる資格とスキル	【講義】日本語能力試験と就職活動、資格試験の有効性
5	ダイアログ	【講義】日本の就職活動の流れ、インターンシップの位置づけ（全体像） 【演習】テーマ「標準的な初任給」「働くとはどういうことか」
6	自己理解①	【講義】なぜ自己理解が必要なのか。自己理解の目的。他者フィードバックの必要性【演習】ライフラインチャート（人生曲線）ワーク。自己の性格的特徴を調べる。長所、短所。
7	自己理解②	【講義】自己分析を職業選びにどう生かすか。 【演習】前回ライフラインチャートの続きとディスカッションのつづき
8	自己理解③	【講義】自己分析を職業選びにどう生かすか。 【演習】前回ライフラインチャートの続きとディスカッションのつづき
9	身だしなみ①	就職活動においての身だしなみ、スーツなどの必要品の理解
10	身だしなみ②	就職活動においての身だしなみ、スーツなどの必要品の理解
11	インターンシップとは	【講義】インターンシップとは。インターンシップの意義。企業比較の仕方。 【演習】各自、就職情報サイトを活用し参加したいインターンシップを検索する。
12	インターンシップとは	【講義】日本のインターンシップ（夏期インターン、冬期インターン）の特徴 【演習】インターンシップへ応募してみよう。
13	期末試験	自己の強みと自己分析結果レポート
14	試験のフィードバック（振り返り） キャリアセンターからの就職ガイダンス	試験のフィードバック。Cam] 学習記録の活動記録作成 自己評価入力 就職ガイダンス（インターンシップ・キャリアセンターの使い方）
15	自分に対する情報収集（レポート課題）	自己の振り返り

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	進路活動ハンドブック + プリント教材（ファイル）
参考文献・資料等	
備考	